



福梅と

加賀の深い関係。



加賀の正月には欠くことのできない和菓子、福梅。

前田のお殿様が加賀の地を治めるようになる以前から、この地には梅の花をこせなく愛した菅原道真公を敬う天神信仰が存在し、その道真公を先祖として崇めた前田家は、本家・加賀藩も分家の大聖寺藩、富山藩、七日市藩も梅鉢紋を家紋とした。

既存の天神信仰を利用した藩主の神格化。天神様の力で金沢城、小松城、高岡城を怨霊から守護しようとした前田利常。そして今でも天神信仰が根強く残る富山。

正月という一番のハレの日に福梅を食べる習慣の背景にあるのは、かつてのお殿様への敬愛か、天神様への尊敬か、もてなしの心が残る風土か。見えそうで見えない福梅と加賀の関係を辿って^{たど}みたら、アチコチ脱線、迷い道してしまった。

写真・文 タカヤチエユタカ

